

令和 6 年度

佐教社工第 6－5 号

両津総合体育館屋外給排水設備他災害復旧工事

設計図面

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	電気設備特記仕様書 1	N. S
E-02	電気設備特記仕様書 2	N. S
E-03	電気設備 1階平面図(改修)	1／200
M-01	機械設備工事特記仕様書 1	N. S
M-02	機械設備工事特記仕様書 2	N. S
M-03	配置図・案内図・工事概要	1／500
M-04	衛生設備(給水設備) 1階平面図(改修)	1／200
M-05	衛生設備(排水設備) 1階平面図(撤去)	1／200
M-06	衛生設備(排水設備) 1階平面図(改修)	1／200

[illegible]

章

追加特記事項

項目

特記事項

根拠項目

25

追加特記事項

1 公共事業労務費調査

※ 協力する。
共同監理 ・ あり ※ なし
・ 登録工事電子納品要領(案) (国土交通省大臣官庁官庁登録部登録計画課監修)
※ 工事運行マニアル(新潟県土木部都市局登録課作成)
※ 作成する ・ 作成しない
受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行マニアルによる。)

2 工事監理方式

3 適用基準等

4 総合図

5 工事成績評定

6 アスベスト含有の建材

ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。
低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。
検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

7 中間技術検査

<表-1> 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説 令和3年版」建築設備の耐震設計による			
		特定の施設（ ・ 甲類 ・ 乙類 ）		一般の施設（ ・ 乙類 ）	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器 : ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・
上層階の定義 : 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

<表-2> あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 既設のﾍﾞｰﾄﾞ及びｱﾝｶｰは原則として使用しない。やむを得ず既設のﾍﾞｰﾄﾞ及びｱﾝｶｰを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次による。 () (2) あと施工ｱﾝｶｰについては機械設備工事標準図(施工19)による。 (3) 穿孔作業には、専用ﾄﾞﾘﾙ、振動ﾄﾞﾘﾙやﾊﾞｰﾄﾞﾘﾙ等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのﾄﾞﾘﾙへの表示やｽﾀｯﾌﾟ付きﾄﾞﾘﾙの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工ｱﾝｶｰ	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工ｱﾝｶｰは金属拡張ｱﾝｶｰ又は接着系ｱﾝｶｰとし、耐震計算にて選定を行う。 (2) 金属拡張ｱﾝｶｰの仕様は、次による。 (ｱ) 金属拡張ｱﾝｶｰは、(社)日本建築あと施工ｱﾝｶｰ協会の金属系あと施工ｱﾝｶｰ品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (ｲ) 金属拡張ｱﾝｶｰのﾍﾞﾄﾞ方式は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (ｳ) 金属拡張ｱﾝｶｰ本体の径及び埋め込み深さは、図示による。 (ｴ) ｽﾀｯﾌﾟ筋の種類、径及び長さは図示による。 (3) 接着系ｱﾝｶｰの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (ｱ) 接着系ｱﾝｶｰは、(社)日本建築あと施工ｱﾝｶｰ協会の接着系あと施工ｱﾝｶｰ品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (ｲ) 接着系ｱﾝｶｰは、ｽﾀｯﾌﾟ型とし、接着剤の材質及びｽﾀｯﾌﾟの種類は図示による。 (ｳ) 接着系ｱﾝｶｰの埋込深さ及び許容引抜荷重については、機械設備工事標準図(施工19)による。 (4) あと施工ｱﾝｶｰの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工ｱﾝｶｰ技術管理士又は主任技士を置く。 (5) あと施工ｱﾝｶｰ作業における技能者は、あと施工ｱﾝｶｰ工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工ｱﾝｶｰ施工士とする。 (6) あと施工ｱﾝｶｰの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

<表-3> 用語の説明

(1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
(2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
(3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
(4) 「取外し・再取付」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1.4.3]
(5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

<表-4> 発生材の処理等

1. 再生資材の利用
下材資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考

2. 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3. 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称					
工事場所／施設所在地					
連 絡 先					
仮 置 場 所 の 有 無					
備 考					

4. 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名					
処 理 施 設 名 称					
施 設 所 在 地					
連 絡 先					
備 考					

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、 同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
⑦ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

<表-5> 工事区分表

注) 原則○印を適用する。
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		給 電	空 断 器			備 考	
躯体関係							
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌ材及び取付け	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	防火区画、防護区画	
	貫通孔・開口部の量出し	○	○	○	○	防火区画、防護区画	
	貫通孔・開口部の補強	○					
ｽﾘｰﾌ・型枠の穴埋め	ｽﾘｰﾌ	○	○	○	○		
	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌ・補強	○					
	使用されたｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○		
予備ｽﾘｰﾌの穴埋め	予備ｽﾘｰﾌ	○	○	○	○		
	3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○				
		室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)		○	○	○	
屋外・屋上の基礎		○					
屋上基礎で撐えｽﾘｰﾌにｱﾝｶｰしない軽微なもの			○	○	○		
機器取付け用ﾌｫｰﾑ・架台			○	○	○		
屋内受水ﾌｫﾝ用の基礎		○					
仕 上 げ 関 係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用いるｽﾀﾝﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を用いないｽﾀﾝﾄﾞの切り込み		○	○	○		
	開口部の量出し		○	○	○		
電 気 関 係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○	二次側	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○		一次側	
	機器と付属操作ｽｲｯﾁの取付け及び渡り配管配線			○	○		
そ の 他 (工事区分を特に間違えやすい項目)							
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議	
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議	
流し台、ガス台、便所手洗いカウンター		○				衛生機器は衛生設備	
洗面化粧台				○			
排煙機		○				排煙灯は電気設備	
ガス漏れ警報器24時間監視				○		ガス漏れ火災警報設備は電気設備	
機器納入	機器納入			○			
	取付		○				
湯沸器	機器納入			○			
	取付		○				
上記以外給気用ｽｲｯﾁ	取付		○				
	機器納入、取付		○				

<表-6>機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

名 称		測 点	取付高 (mm)
電力推進	取引用計器	地上・上端	※ 2,000
	引込開閉器	〃	※ 1,800
電 灯	分電盤	床下・中心	※ 1,500 (上端1,900以下)
	タンブラスイッチ (一般)	〃	※ 1,300
	〃 (身障者用)	〃	※ 900～1,000
	コンセント (一般)	〃	※ 300
	〃 (和室)	〃	※ 200
	〃 (台所)	台上・中心	※ 150
	ブラケット (一般)	床下・中心	※ 2,100
	〃 (語場)	〃	※ 2,500
	〃 (鏡上)	鏡端・中心	※ 150
	〃 (浴室)	床下・中心	※ 天井高×0.9
	非常照明器具用遮断器	-	※ 1,200
	避難口誘導灯	床上・下端	※ 1,500以上
廊下通路誘導灯	床上・上端	※ 1,000以下	
動 力	壁掛型制御盤	床上・中心	※ 1,500
	手元開閉器	〃	※ 1,500(上端1,900以下)
	操作スイッチ・押ボタン	〃	※ 1,300
	電 話	室内端子盤	床下・下端
中間端子盤		床上・中心	※ 1,500
保安器箱		〃	※ 天井高×0.9
壁掛位置ボックス (一般)		床上・中心	※ 300
	〃 (和室)	〃	※ 200
	時 計	壁掛形観時計	床上・中心
子時計		〃	※ 天井高×0.9
拡 声	壁掛形スピーカー	床上・中心	※ 天井高×0.9
	壁付音量調整器	〃	※ 1,300
表示・電鈴	表示盤	床上・中心	※ 天井高×0.9
	壁付発信器	〃	※ 1,300
	ブザー・ベル	〃	※ 天井高×0.9
	押ボタン (一般)	〃	※ 1,300
インターホン	〃 (身障者用)	〃	900～1,000
	壁付インターホン	床上・中心	※ 1,300
	身体障害者用	〃	※ 1,000
	壁付位置ボックス (一般)	〃	※ 300
テ レ ビ	〃 (和室)	〃	※ 200
	機器収容箱	床上・中心	※ 1,500
	テレビアウトレット (一般)	〃	※ 300
	〃 (和室)	〃	※ 200
火 災 報 知 器	受信機・副受信機	床上・操作部	※ 800～1,500
	専用総合盤	床上・中心	
	発信器	〃	
	ベル	〃	2,300
	消火栓・表示灯	〃	※ 2,100
	試験器	〃	※ 1,500
ガス警報器	L Pガス用	床上・上端	※ 300以内
	都市ガス用	天井面・下端	※ 300以内

関係者

佐渡市教育委員会 社会教育課

検閲

主任

担当

作成

縮尺

N. S

年月日

2024. 11

工事名称

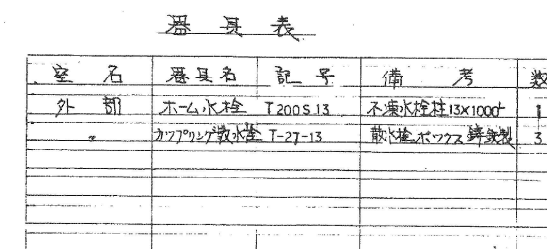
両津総合体育館屋外給排水設備他 災害復旧工事

図面名称

電気設備特記仕様書 2

図面No.

E-02



污水标准表

番	記号	深さ	備考
1	FRP-300 ²	H-400	丸研錆染
2	" "	H-440	" "
3	" "	H-500	" "
4	" "	H-530	" "
5	SC-3	H-670	
6	SC-3	H-840	
7	SC-4	H-1,110	
8	SC-20	H-1,350	
9	FRP-300 ²	H-400	丸研錆染
10	FRP-300 ²	H-440	" "
11	" -300 ²	H-470	" "
12	" -400 ²	H-500	
13	" -400 ²	H-600	
14	SC-3	H-700	
15	SC-3	H-900	

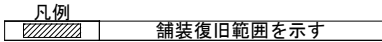
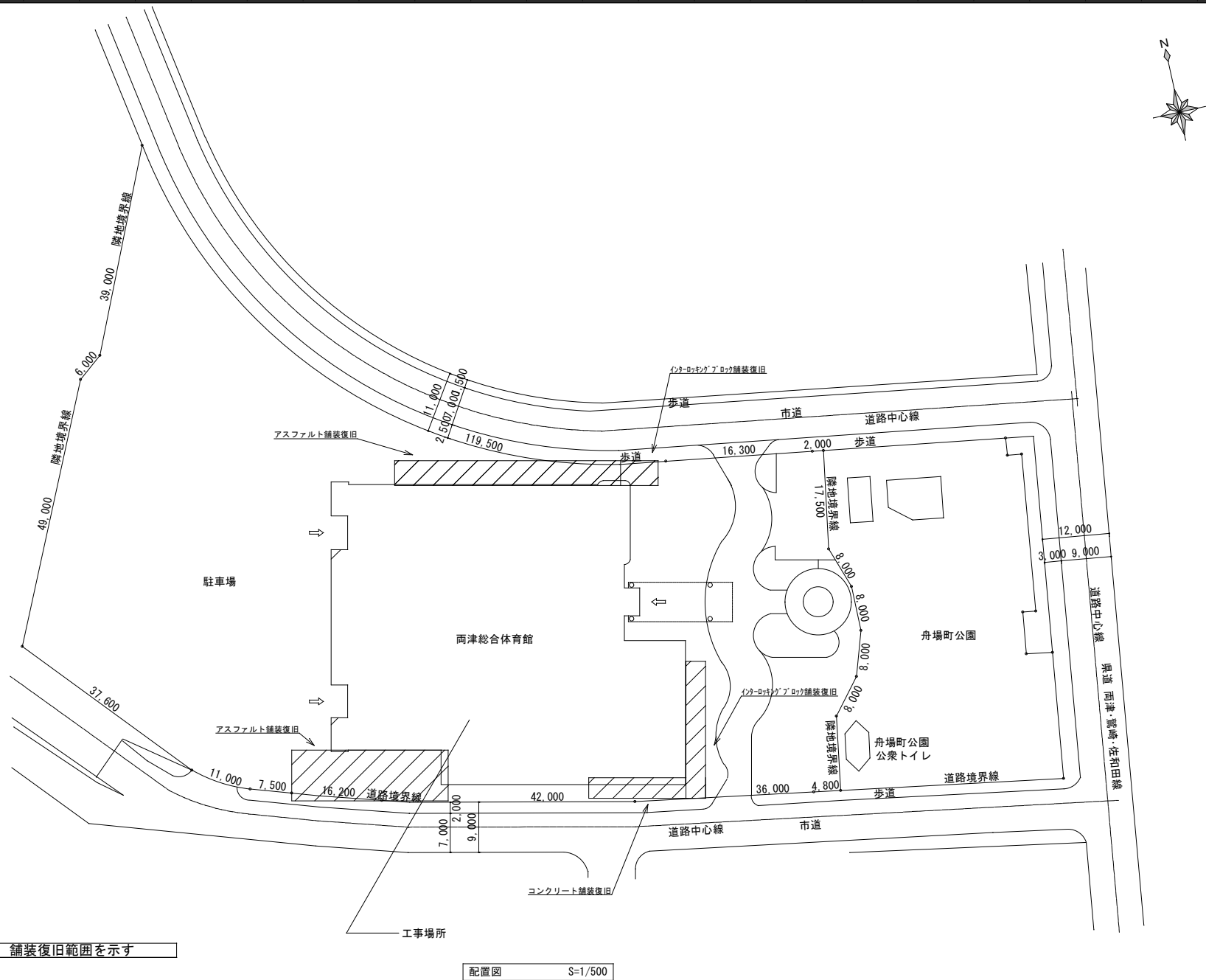
雨水杆表

番	記号	深さ	備考
A	AM-1	H-400	
B	AM-2	H-550	
C	AM-3	H-690	

隋 平 面 图 S = 1/200

規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備 考（接合工法等）	
名 称	番 号	備 考	給水管 一 地中埋設 段	排水用 給 湯 管 内 外	通気管 一 般	消火管 水 系 一 般	ガス管 ガ ス 系	油 管 一 地中埋設 段	一 暗渠内 埋設	一 地中埋設 段	一 暗渠内 埋設	一 地中埋設 段		
【給水及び給湯管】														
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○										□ねじ □フレンジ	
〃	〃	SGP-VB	●										■ねじ □フレンジ	
〃	〃	SGP-VD		○									□ねじ □フレンジ	
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNWA K 140	SGP-HVA		○									□ねじ	
水道用ポリエチレン粉末管	JNWA K 132	SGP-PB	○										□ねじ □フレンジ	
〃	〃	SGP-PD		○									□ねじ □フレンジ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448		○	○									□圧縮・プレス □拡張式 □ハダシ	（結露防止にポリスチレン管を使用する場合の保温材は、保温材と土質異なるとする。）
鋼及び鋼合金継目無管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○									□熱溶着 □電気融着	
外面被覆鋼管	JIS H3330		○	○									□熱溶着	
保温付被覆鋼管	JDA 0008		○	○									JIS H 3300の外面に発泡断熱材（厚さ14mm以上）で被覆したもの	
水道用硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	VP又はH1VP	○	○									□接着 (TS) □コム輪 (RR)	
水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762		●										■軟質管・ホムロ □硬質管・ホムロ	
水道配用水用ポリエチレン管	JNWA K 144			○									□電気融着 □ホムロ	
ポリブテン管	JIS K 6778		○	○										
ナロコニング鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP	○										□フレンジ □ハダシ	
【排水及び通気管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管			○								□ねじ	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管				○							□ねじ □ハダシ □溶接	
排水用硬質塩化ビニル管	WSP 042				○	○							□ねじ □MD	
排水用ポリブテン管	WSP 032				○	○							□ねじ □MD	
排水用塩化ビニル管					○	○							□ねじ □MD	
硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	○	○	○								□接着 (DV) □コム輪 (RR)	
〃	〃	カ-VP	○	○	○								□接着 (DV) □コム輪 (RR)	
〃	〃	VU		●									□接着 (VU) ■コム輪 (RR)	
排水用ポリブテン管	AS - 58	REP-VU			○								□接着 (VU) □コム輪 (RR)	
ポリブテン硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 9798	RF-VP			○								□接着 (DV) □コム輪 (RR)	
ポリブテン硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 9797	RS-VU				○							□接着 (VU) □コム輪 (RR)	
耐火二層管					○	○							□接着 (DV) □コム輪 (RR)	
コンクリート管	JIS A 5328	圧管1種B形		○									国土交通省認定品 □ガム接合 (B形)	
【消火管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452					○							□ねじ □ハダシ □溶接	
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370B管 Sch40				○							□ねじ □フレンジ □ハダシ	
消火用硬質塩化ビニル管	WSP 041	SGP-VS					○						□ねじ	
外面被覆鋼管														
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448					○							□圧縮・プレス □拡張式 □ハダシ	
ナロコニング鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP				○							□フレンジ □ハダシ	
【ガス管及び油管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管					○						□ねじ	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS						○	○				□ねじ □溶接	
〃	JIS G 3469	PLP								○			□溶接	
ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774										○		□熱溶着 □電気融着 □ホムロ	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管										○	□ねじ □溶接	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS										○	□ねじ □溶接	
〃	JIS G 3469	PLP											○	□溶接
(注) ●印及び■印を適用する。														
規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備 考（接合工法等）	
名 称	番 号	備 考	冷 却 水 管	蒸 気 管	給 湯 管	一 般 管	一 暗渠内 埋設	冷 媒 管	一 地中埋設 段	冷 媒 管	一 地中埋設 段	一 暗渠内 埋設		
【冷水水及び冷却水管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管	○	○									□ねじ □ハダシ □溶接	
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○										□ねじ □フレンジ □ハダシ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304	○										□圧縮・プレス □拡張式 □ハダシ	（結露防止にポリスチレン管を使用する場合の保温材は、保温材と土質異なるとする。）
【蒸気管及び油管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管		○	○								□ねじ □溶接	
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370 黒管Sch40		○	○								□ねじ □溶接	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304				○							□溶接 □フランジ	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS					○	○	○				□ねじ	
〃	JIS G 3469	PLP											□溶接	
【冷媒管】														
断熱材被覆鋼管	原管はJIS H 3300による								○				液管：□保温厚10mm以上（呼径9.52以下は8mmで可） ガス管：□保温厚10mm以上 □保温厚20mm以上	
【空調ドレン排水管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管								○			□ねじ □MD	
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP									○		□接着 (TS) □コム輪 (RR)	
〃	〃	カ-VP											□接着 (TS) □コム輪 (RR)	
【補給水管】														
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA								○			□ねじ □フレンジ □ハダシ	
【空気抜き管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管								○	○		□ねじ □ハダシ □溶接	
【膨張管】														
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○		□ねじ □ハダシ □溶接	
(注) ●印及び■印を適用する。														
各項目で縦に2つ以上●がある場合、管種と使用部位は下記による。 (記載例) 給水管一般：SGP-VA（PS内）、ポリブテン管（住戸内）														

表－2「発生材の処理等」					
1. 再生資材の利用					
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。					
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考	

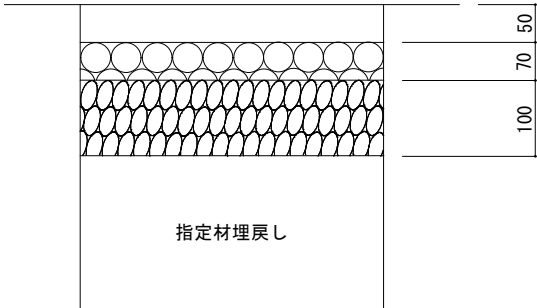


配置図 S=1/500

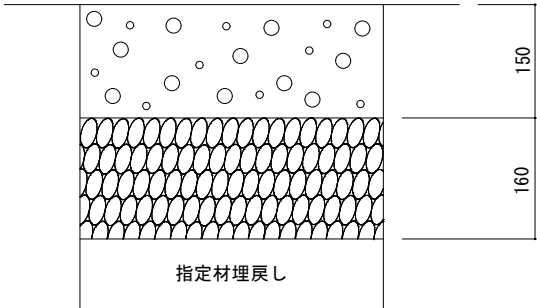
舗装復旧標準断面図

※現況と異なる場合は監督員と協議を行い、適宜修正する

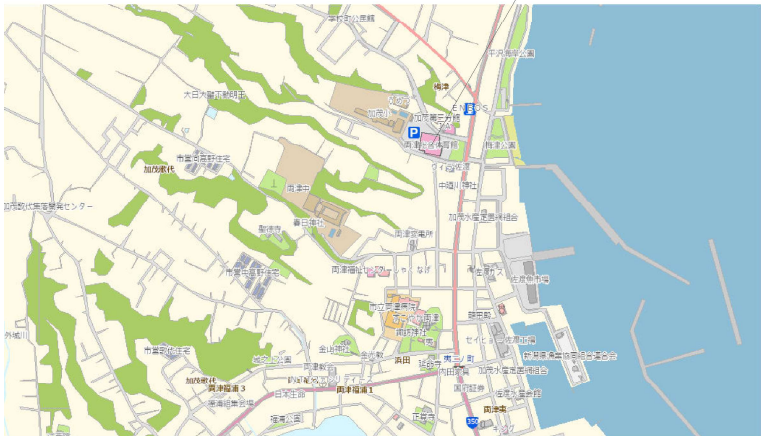
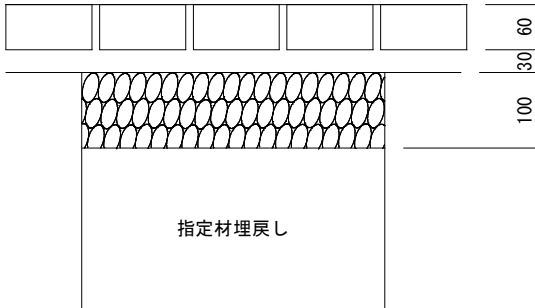
アスファルト舗装復旧



コンクリート舗装復旧



インターロッキングブロック舗装復旧



工事場所：佐渡市梅津2343-1番地
両津総合体育館

案内図

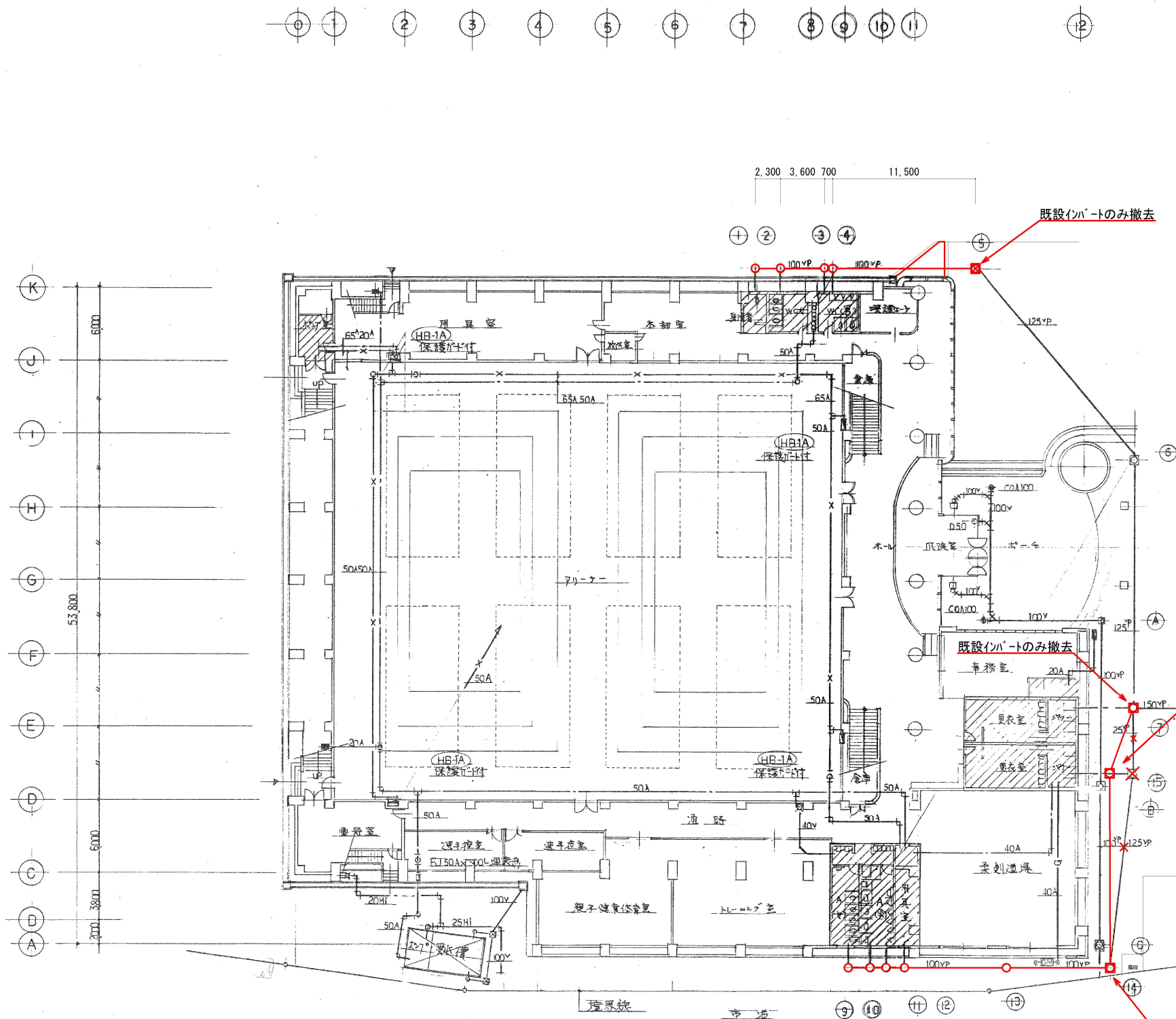
工 事 概 要	
1) 一般事項	
工事名称	両津総合体育館屋外給排水設備他災害復旧工事
工事場所	佐渡市梅津2343-1番地
工事種別	管工事
建物用途	体育館
都市計画区域	都市計画区域内
防火地域	指定なし
用途地域	指定なし
その他の地域・地区	
建ぺい率	60%
容積率	200%
耐火建築物	耐火建築物
敷地面積	10,600.33 ㎡
2) 対象建物概要	
構造階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上2階建て
最高の高さ	20.85m
最高の軒高	16.75m
床の高さ	0.75m
建築面積	3,131.19 ㎡
1階床面積	2,963.96 ㎡
2階床面積	1,103.98 ㎡
延床面積	4,067.94 ㎡
設備工事	電気設備：電灯コンセント設備、外部配管、電源ポンプ入替 機械設備：給水設備、排水設備
関連工事	
別途工事	両津総合体育館2階会議室エアコン入替工事

斜線部分は別図詳細図参照のこと

--	--	--	--	--

器具表※今回改修範囲のみ

隋平南 S = 1/200



凡 例	
シンボル	摘 要
—	排水管
○	イバート枳
○	小口径塩ビ枳

室 名	器具名	記 号	備 考	数
外 部	ホム水枳	T200S-13	不薬水枳枳13x1000+	1
	カマカレ枳枳枳枳	T-27-13	枳枳枳枳枳枳枳枳	3

斜線部分ハ別図詳細図参照ハヒ

汚水枳枳表

番	記号	深さ	備考
1	FRP-300	H-400	枳枳枳枳枳
2	"	H-440	"
3	"	H-500	"
4	"	H-530	"
5	SC-3	H-670	
6	SC-3	H-840	
7	SC-4	H-1110	
8	SC-20	H-1350	
9	FRP-300	H-400	枳枳枳枳枳
10	FRP-300	H-440	"
11	"	H-470	"
12	"	H-500	"
13	"	H-600	"
14	SC-3	H-700	
15	SC-3	H-900	

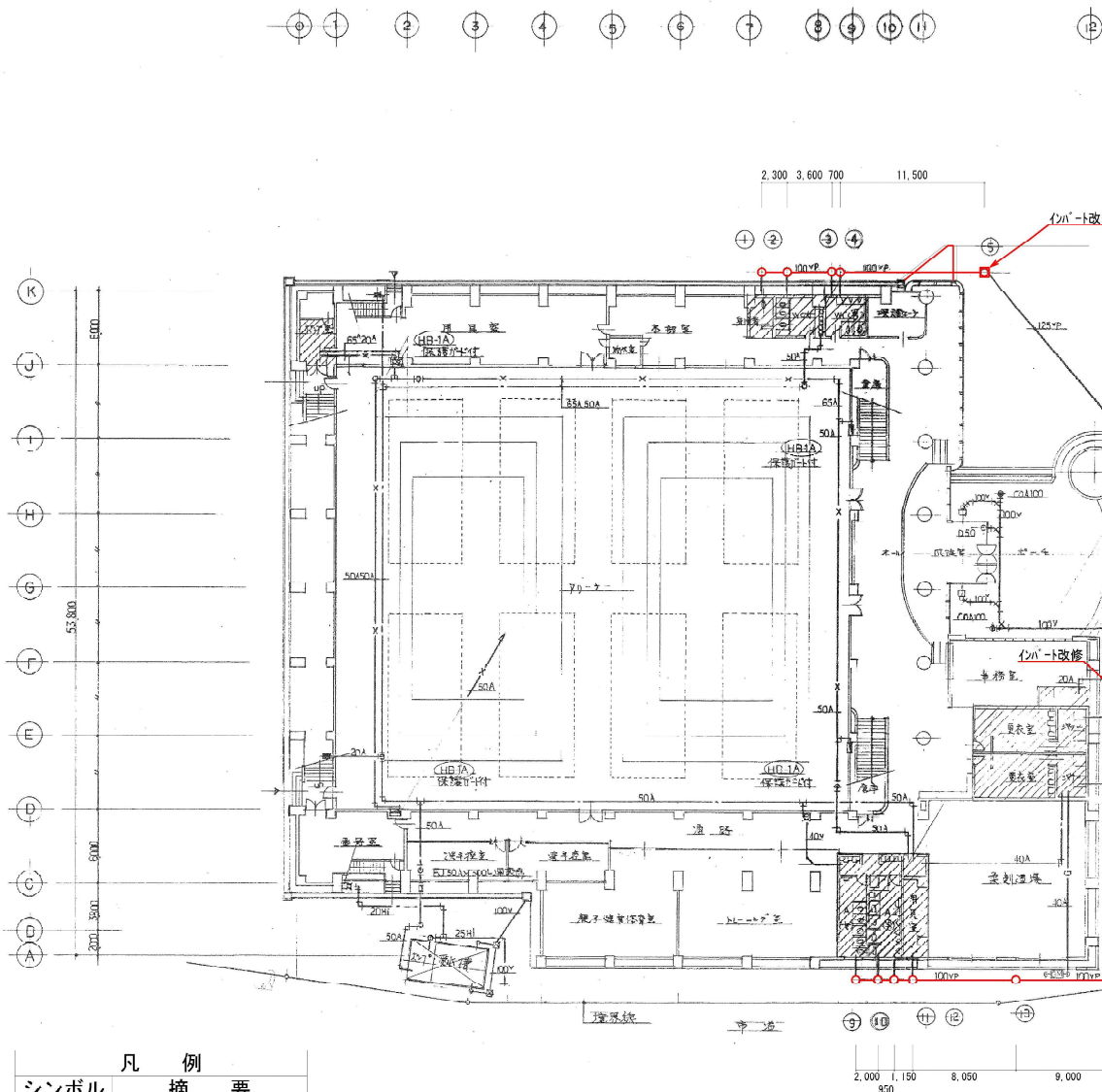
雨水枳枳表

番	記号	深さ	備考
A	AM-1	H-400	
B	AM-2	H-550	
C	AM-3	H-690	

※屋外の汚水排水枳(φ100)ハ、原則撤去・新設する。

1階平面図 1/200

旧図転用



区名	器具名	記号	備考	数
外 部	排水口	T200S-13	不変水圧計150x1000	1
	排水口	T-27-13	排水口用フタ	3

斜線部は排水口用フタ

汚水樹表（改修）

No.	記号	深さ	備考
1	90L 100-150	400	鉄蓋T-8
2	90Y 100-150	440	鉄蓋T-8
3	90Y 100-150	500	鉄蓋T-8
4	90Y 100-150	530	鉄蓋T-8
5	SC-3	670	インポート改修
6	SC-3	840	既存のまま
7	SC-4	1,110	既存のまま
8	SC-20	1,350	既存のまま
9	90L 100-150	400	
10	90Y 100-150	440	
11	90Y 100-150	470	
12	90Y 100-150	500	
13	ST 100-150	600	
14	SC-3	700	インポート改修
15	SC-3	900	インポート改修
16	ST 100-150	800	新設

汚水樹表

番	記号	深さ	備考
1	FRP-300	H-100	鉄蓋付
2	"	H-440	"
3	"	H-500	"
4	"	H-530	"
5	SC-3	H-670	"
6	SC-3	H-840	"
7	SC-4	H-1,110	"
8	SC-20	H-1,350	"
9	FRP-300	H-400	鉄蓋付
10	FRP-300	H-440	"
11	"	H-470	"
12	"	H-500	"
13	"	H-600	"
14	SC-3	H-700	"
15	SC-3	H-900	"

雨水樹表

番	記号	深さ	備考
A	AM-1	H-400	
B	AM-2	H-550	
C	AM-3	H-690	

凡 例	摘 要
シンボル	排水管
	インポート樹
	小口径塩ビ樹

※屋外の汚水排水管(φ100)は、原則撤去・新設する。

1階平面図 S=1/210